

労働者も一歩前にでて、職場・地域で宣伝していき  
 ましょう！



## スケジュール

会議は第1・第3木曜日

**10月の会議**の予定です。

例会	10月	1日(木)	19:00
運営委員会	10月	15日(木)	19:00

**11月の会議**の予定です。

例会	11月	5日(木)	19:00
運営委員会	11月	19日(木)	19:00

いずれも会議は西蒲田の事務所

働く仲間の相談センター

# 京浜ユニオ ニュース

2015年  
 10月1日  
 NO.239

〒144-0051

郵便振込口座  
 001201562481 京浜ユニオン

東京都大田区西蒲田4-32-9  
 労働組合・京浜ユニオン  
 TEL 050-3410-6240  
 FAX 電話と同じ

働く仲間の相談センター

Ex-ll keihin.yunion@wonder.ocn.ne.jp ホームページ http://keihin3762.sakura.ne.jp/  
 Ex-ll keihin.yunion@wonder.ocn.ne.jp ホームページ http://keihin3762.sakura.ne.jp/

# 憲法違反の戦争法、廃止をめざして!

戦争法に反対する広範な労働者・市民の結束が、民主・共産・社民・維新・生活の野党の結束を促し、徹底抗戦に導いた。

8月30日の国会周辺を埋め尽くした12万人のデモ隊。連日の国会包囲の座り込み。毎週木曜の抗議行動。全国各地で開かれた集会とデモ。法案の強行採決後も、運動は怒りをまして続いています。

今年の総選挙で全有権者の17%の票で多数の議席を得ただけで、6割の人々が反対している憲法違反の戦争法を強行採決しました。

自衛隊の海外での武力行使に道を開き、日本の平和と市民の命を危険にさらすこのような法律を一国も早く廃止しましょう。

## 広がる反対運動

憲法学者が国会で戦争法案が違憲と発言したことをきっかけに、学者の会が賛同署名を14268人集めた。民主主義の危機と戦争の匂いを感じた学生有志が毎週金曜日に国会前での抗議行動をはじめた。7月10日には、15000人を集めました。ママの会がネットで呼びかけ、12012件のいいね!がフェイスブックにあつまりました。国会包囲に乳母車に子どもを乗せた若いママが目立ちはじめました。創価大学の有志が署名を集めはじめ、1900名の署名を集めました。

## 落選運動を開始

国会で議決したのなら、国会で廃止を議決すればいい。その為に、来年の参院選挙、その後の衆議院選挙で、戦争法に賛成した議員の落選運動をおこなおう!

各選挙区で可能な限りの選挙協力を行い、反対派議員の当選を勝ち取ろう!集会で、ネットで叫ばれています。

## 違憲訴訟の動き

戦争法が憲法違反の法律であることを確認しましょう!すでに、各地各団体で、違憲訴訟の準備が進んでいます。

## 継続する反対集会

SIALD(シールズ)は毎週金曜日に午後7時半から国会前集会を続行しています。各地のそれぞれの団体も運動の継続を誓っています。

# 労働者派遣法はどうか変わったか？

残念だが、労働者派遣法は政府与党の強行採決で改悪が決まってしまった。どう変わったのか確認しよう。

従来は専門26業種は無期限。それ以外は3年を期限に、企業に直接雇用を義務づけていた。その直接雇用の猶予期限が9月30日だった。その日にあわせ、改悪を強行した。

## どう変わったか

職種に関係なく全員3年契約になった。

企業は3年ごとに、人さえ入れ替えれば、無期限に派遣労働者を使い続けられるようになった。

派遣労働者は、一つの課（部署）には3年しか働けない。別の課に異動すれば、働ける。

ただし、期間経過日の1ヶ月前に、過半数組合の意見を聞けば、延長できる。

さらに無期雇用の派遣労働者は3年を超えて、派遣先で働ける。

## 労働者に与える影響は

企業は解雇制限のある社員を雇わず、派遣社員に切り換える。その結果、低賃金・不安定雇用が増大する。

これまであった、「直接雇用申し込みみなし制度」による、はけんから社員への登用制度がなくなった。あるのは「依頼する」という形式だけ。断られたら終わり。

本来は臨時的、一時的な雇用形態である派遣労働が原則化し、派遣労働者が正社員雇用を望んだとしても、ずっと派遣労働者の地位に甘んじることを余儀なくされる。

## 直接雇用できる法改正の実現を

派遣労働をいれることで、企業は安上がりの労働者を確保できるだけでなく、直接雇用でないことで、仕事の増減にあわせて労働者の数を変更できる。さらに、雇用形態・雇用責任の違う労働者を同一企業内にかかえることで、労働者の団結をさせにくくしている。

派遣労働者を減らすことが、労働者の労働条件を向上させ、団結しやすくなる。直接雇用できる法改正の実現をめざそう！

# 10月の行動スケジュール

## 10月3日(土)～4日(日)第43回大田生活展・翔

いのちとくらしを守ろう・・・生活に役立つ企画や楽しい企画が盛りだくさん。ユニオンも参加します。

午前10時～午後3時半 区立消費者生活センター

## 10月10日(土)～11日(日)福島原発被災者交流ツアー

会費17000円～21000円、希望の牧場、裁判原告との交流。シンポジウムを企画。

## 10月12日(月・祭日)奥武蔵自然歩道ハイキング

ユニオン企画。会費1000円弁当と飲み物代。

午前9時30分、西武池袋線改札集合

飯能—能仁寺—展覽山—中腹広場—どこまで?—飯能

## 10月19日(月)ユニオン宣伝ビラ情宣 JR 蒲田東口

昼 12:00～1:00 夕 18:10～19:10

\*昼ビラと夕ビラの間に、西蒲田の事務所でホームページ更新作業を行います。

## 10月26日(月)福山真劫講演討論会

南部1000人委員会、これからどうするのかの討論をします。  
大田消費者生活センター

## 10月30日(金)ユニオン学習会

午後5時半～6時半 組合パンフの読みあわせ

午後6時半～ 組合結成の経験に学ぶ。

**\* 緊急要請!** 翁長知事の辺野古埋め立て承認取り消しになっ

た翌日、18:30 首相官邸前 緊急抗議行動

## 11月10日(木)内田樹講演会

大田区民プラザ 午後6:30～9:30 会費1500円 予約制



かわら版

Union

2015年 10月1日

## 奥武蔵自然歩道

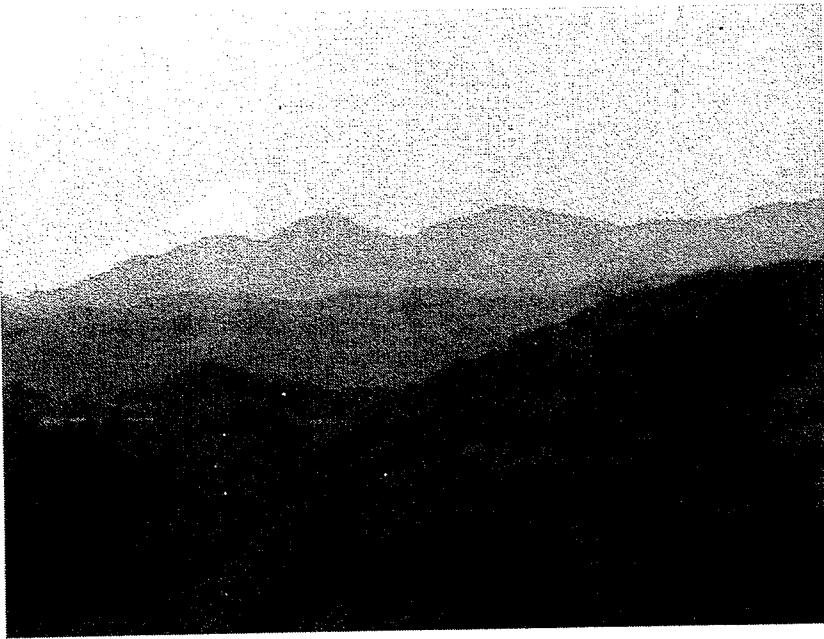
### ——ユニオン ハイキング

日時 10月12日 (月・祭日)  
集合 西武池袋線—池袋改札口  
午前9時半 集合  
会費 1000円 弁当・飲食代として  
交通費 蒲田—飯能 片道 860円

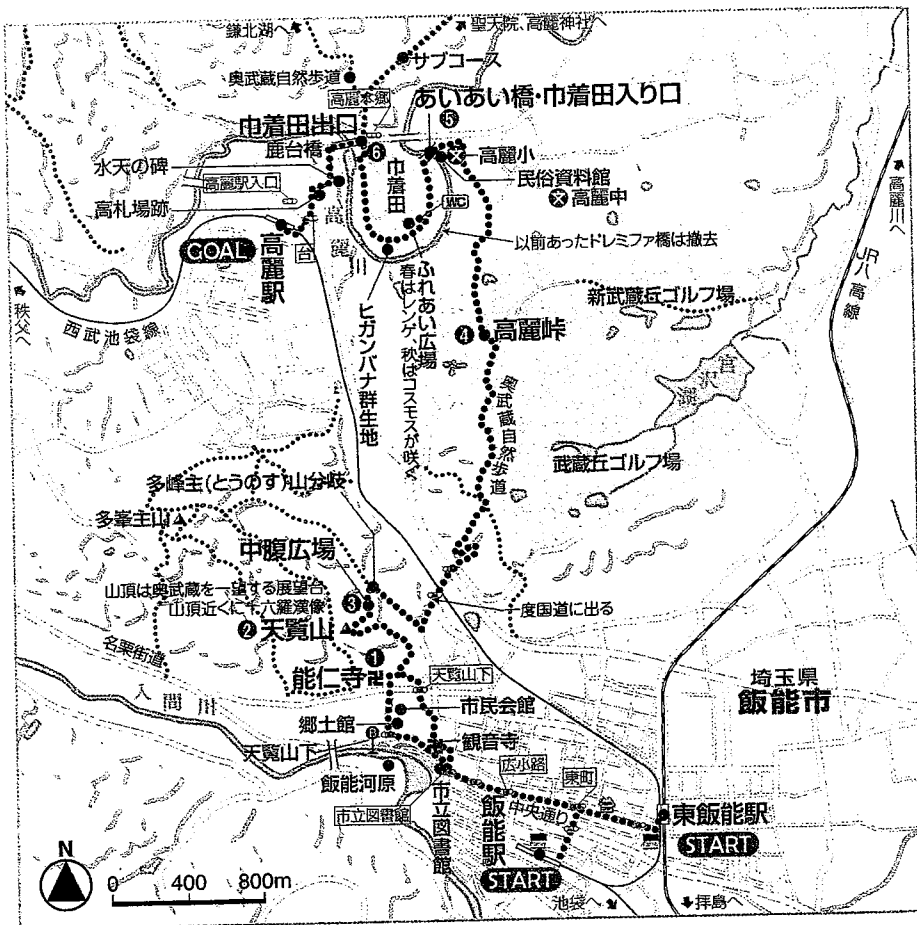
歩くにはいい時期です。

飯能駅から能仁寺を經由して展覽山・中腹広場  
そこで昼食交流会をした後、奥武蔵歩道へ？

参加者の体力と相談してどこまで行くか決めたい  
と思います。



## 天覧山からの眺め



# 映画『希望の国』を観て

9月20日、「カフェ・ド・キネマ」という集まりがあった。井桁さんが会長を務めている。映像を観て、お茶を飲みながらいろいろ語りあう場だ。7月に続く第2回では反原発について話し合った。井桁さんのあいさつに続き、話し合いの材料として、映画『希望の国』を観た。

園子温監督による同作品は、福島原発事故のあとに同じような原発事故が起きた地域の畜産農家を描いている。主人公は老夫婦と息子夫婦の4大家族だ。事故後の避難命令により、近所の多くは避難所にのがれ、息子夫婦も自主避難するが、老夫婦は留まり、野菜を育て、牛の世話を続ける。妊娠している息子の連れ合いは避難先で被曝回避の意識に目覚め、防護服に身を固めて町を歩き始める。だが、そこも安全でもないことが分かり、さらに遠くに避難する。他方、強制撤去と牛の殺処分命令を出された老夫婦は……という筋書きだ。すべてが絶望的な状況なのに、最後に題名の「希望の国」の文字が大写しになって思わずのけぞった。



鑑賞後、話し合い。

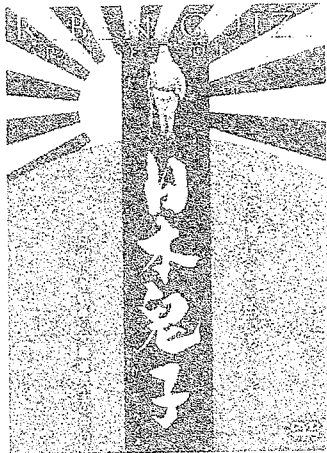
「絶望的な事ばかり起きるのに、『希望の国』という題名はどうしてつけられたのか？」

「福島の人たちが闘っている場面があっても良かった」

「映画の雰囲気は全体的に暗いのは、福島の人たちが置かれている状況を丁寧に描いたからなのでは」

など、色々な意見が出た。

場所を居酒屋に変え、一杯やりながら話は続いた。反原発に留まらず、色々な話題が飛び交った。



宣伝。「カフェ・ド・キネマ」第3回は中国侵略戦争が主題。参考資料として映画『日本鬼子(リーベンクイズ)』を観る予定。元日本兵による、中国人殺害の加害証言を集めたドキュメンタリーだ。

11月22日(日)午後1時30分より大田区立消費者生活センターで開催予定。(迫田)

# 子ども脱被ばく裁判支援ツアーに参加

9月10日、福島地裁で開かれた子ども脱被ばく裁判第2回口頭弁論の支援行動に参加した。同日朝、新宿駅をバスに乗って移動する予定が、大雨で茨城・栃木両県の道路が一部不通でバス運行中止に。有志が新幹線に乗ることになり、参加した。6月23日の第1回口頭弁論に続いて2度目だ。



写真は福島市民会館で開かれた集まりと、弁護団の記者会見。

原告は福島県及び避難中の親子。第1回は傍聴できた。原告の親2人の陳述を聞きながら涙が止まらなかった。

今回は抽選に外れ、地裁のロビーで待機。「子ども福島」など県内の反・脱原発運動について話す活動家たちの話が、聞こうとしていないのに耳に入ってきた。生々しい。

裁判終了後、原告も参加しての記者会見と意見交換。子どもと自分に被ばくの影響がはっきりと出ているのに、避難先で差別されて戻らざるを得なかったなどの話に胸が痛んだ。

第20回福島県「県民健康調査」検討委員会が8月31日に開かれ、新たに甲状腺がん及び疑いが11名増え137人(良性結節1人除く)になったことが明らかになった。子どもの甲状腺がん発生率は全国平均の数10倍だ。福島原発事故とは関係ないという言い逃れは破たんしている。

子どもが安全な環境で勉強する権利を保障し、そのための措置を国と地方自治体は取れ！ (迫田)



# 辺野古の座り込みに参加して

辺野古の新基地建設計画をめぐる沖縄県と政府の集中協議期間が9月9日で終了した事に伴い、軍事基地沖縄キャンプ・シュワブでの強行な資機材や土砂等の搬入を阻止し、海上での作業再開をさせない為、当日現地入りをした。

政府は辺野古への新基地建設を押しすすめる代わりに、沖縄の基地負担軽減を掲げているが、裏腹に米軍基地施設を共同使用し、自衛隊の活動範囲を拡大している。

1ヶ月間中断していた協議も決裂し移設作業を再開する方針だが、政府の一時休憩に市民は振り乱れる事なく闘い続けている。

ここテント村でも24時間態勢で座り込み、元気よく頑張っています。現場にはトイレも店もなく車に乗り、ある人は歩いて近くのコンビニ迄用をすませている。それでも多くの仲間達は口々に「新基地建設は絶対に止めなければならない。作業を再開させない強い決意を示そう。ゲート前で食い止める。海上に出させない行動をとろう」等(など)地元シールズ琉球のメンバー達や市民を含む約80人が集まり常時警戒にあたっている。道路脇には一面にノボリが立ち、金網柵には横断幕、各地からの団体の寄せ書き、プラカード等、貼り付けられ、我々の民主主義がここにあると感じた。**平和に勝る抑止力などないと思う。**

集会参加者は北海道からの挨拶で始まり、福岡、東京。驚いたのは、地元から7人で参加「商社会社の研修で、この現場に来ました。以前も新入社員研修できましたが、延べ200名ほど、このテント村に来ています」と挨拶があり、熱く感動した。





翌日も猛暑が続く。右翼の街宣車を横目で睨み、時間ごとにシュプレヒコール、デモを繰り返し、監視網を広げているが、工事関係車輛（資材・土砂）の動きは見られない。

軍事基地内、上陸訓練場の森林では、早朝から打ち上げ花火のような大音が鳴り響き、山を的に砲撃し、至るところで山肌が見られる。

一部返還された（野球場の広さ）土地には、汚染物質が溜り近寄れない。現在もビニールシートで囲っている。ハワイ沖の軍事施設周辺での遊泳禁止、その訳とは軍艦を洗い流す水は汚染されている現地報告もありました。

このように、至る所で自然を汚し壊し、この綺麗な海も埋められ、サンゴをけ散らし、ジュゴン・ウミガメも寄せつけない以上な工事を予定している。いったい日本の財産を誰が守るのでしょう。

地元テレビでも大きく報道されていた鬼怒川堤防決壊、それも依然から予測されていた箇所が決壊した。国土交通省の怠慢、避難指示も怠り人災だと思う。

災害が起こるたび人命が失う。政府の題目、財産・安全・生命・財立・・・その言葉を被害者に直接伝えてほしい。メディアを使い言い訳するなど言いたい。

数キロ離れた海岸監視小屋でも、新基地建設を阻止する沿岸警備船数十隻が待機、海上に数隻が警戒に当たっている。高江や普天間でも連日声を上げ「高江ヘリパッド建設反対普天間基地即時返還」今、この時も声を上げ、拳を突き上げています。 安保法を廃止し日米政府に対し大きな影響を与えていきましょう。 高林

# 戦争法案成立弾劾! 自衛隊の侵略派兵反対!

憲法違反の集団的自衛権行使を合法化する戦争法案が、9月19日午前2時18分に参院本会議で可決し、成立した。投票総数 238、賛成 148、反対 90。民衆の圧倒的な反対の声を踏みにじって賛成票を投じた国会議員は明々白々の戦争加担者だ。恥を知れ。

平和がなければ安心して働けないし、生活もできない。ユニオンはこの間、1000人委員会や総がかり行動などによる集会とデモにできる限り参加してきた。14日の国会前には4万5千人が集まり、正門前道路が再び人で埋まった。全国各地でも多くの人々が反対の声を上げた。

そして18日。昼、平日なのに国会正門前にはもう人がたくさん集まっていた。総がかり行動の集会中に右翼の妨害があり、辺り騒然となる。権力に取り押さえられて道路の向かい側に移動。

夜、総がかり行動主催の集会。4万人以上の結集だ。国会議員の報告と識者の発言。まだ法案は審議中で成立していないのに、来年の参院選の話が多かった。参加者は戦争法案に危機感を持って集まっているのに。学生団体シールズのコールと主張も主に選挙だった。国会前集会ではこれまで国会の内と外が力を合わせて阻止しようと何度も確認してきた。「主権者は私たち」で「主権者はここにいる」のだから、無理を承知で、例えば「国会に入って安倍首相と直談判だ」という方針が出たら、と思った。沖縄のように体を張って闘おうと確認しても良かったはずだ。沖縄のように沖縄と繋がって闘うことが求められていると思う。

来年7月の参院選挙を軽んじている訳ではもちろんない。野党が勝利して過半数を占めれば戦争法を執行停止にできる。重要だ。衆参のねじれで、他のデタラメ法案も阻止が可能だ。そうなってほしい。国民連合政府の提案まで出た。

だが政府は、戦争法を9月30日公布、半年以内すなわち来年3月31日までに施行すると決めた。米国の侵略戦争に自衛隊が米軍と一体化して派兵されるのだ。自衛隊が他国の人々を殺す行為をさせないためにどうするかをまず打ち出すべきではないか。それと一緒に選挙を唱えてくれれば、と思ったのだった。

私たちは戦争法の成立を止められなかった。だが、数十年ぶりらしい全国的な怒りの決起が沸き起こった。これから何を学び、どう進むのか。戦争が起こらない社会をどうすれば作れるのか。自衛隊の派兵を止め、戦争法を廃案にするために、これからも取り組んでいこう。(迫田)



## 日本の労働と貧困(2015年8月、出典は東京新聞)

- 1日 福島原発で働く30代の作業員が帰宅途中に体調不良を訴え、死亡した。
- 3日 人事院によると国家公務員から2014年度に寄せられた悩み相談件数が13年度より159件多い1025件で、5年ぶりの増加。パワハラが148件で最多。
- 4日 足立区立図書館を雇い止めされた司書が雇用継続などを求めた訴訟の控訴審判決で東京高裁が一審に続いて雇い止めを無効と判断。  
厚労省の6月の毎月勤労統計調査(従業員5人以上の事業所)によると、現金給与総額(名目賃金)は前年同月比2.4%減、実質賃金は2.9%減。
- 5日付 日本年金機構の福島・和歌山・大分の各事務センターで、業務委託で年金データの入力作業をしていた110人が給料未払いのまま3月に業務委託先の会社を解雇されていたことが分かった。
- 5日 厚労省によると5月末時点の生活保護世帯は162万2525世帯で過去最多を更新。受給者数は前月比1972人減の216万1442人。
- 6日付 厚労省が、生活保護を受給している福島市の母子家庭の訴えに応じ、同市による減額処分を取り消し、全国の自治体に通知を出した。13年3月卒業生で生活保護世帯の高校生の大学進学率は19%、全体は5割超。
- 8日 福島原発で働く二次下請け企業の作業員がタンクに頭を挟まれ死亡。
- 12日 原子力規制委員会事務局の課長補佐級の男性職員が部下の女性職員にセクハラ行為を繰り返したとして減給五分の一(三か月)の懲戒処分。
- 17日 内閣府によると15年4-6月期の実質国内総生産は前期比0.4%減、年換算率1.6%減。安倍政権成立時前の3年前と比べ、正規労働者は3370万人から3314万人に減、非正規労働者は1775万人から1953万人に増。
- 21日 福島原発で60代の作業員が作業中に意識を失い死亡。8月3人死亡。
- 24日 厚労省によると2015年度の地域別最低賃金の見直し額が出そろい、全国平均では時給18円増の798円になった。10月1日から各地で順儀改訂され、16-20円上がる。東京の最低賃金は19円増の907円。
- 25日付夕 労働政策研究・研修機構の調査によると従業員100人以上の企業の労働者の14年度の有給休暇平均取得日数は7.7日(平均取得率46%)。
- 26日付 土浦労基署が学習塾の明光義塾をフランチャイズ経営するワールドオーナーに深夜割増賃金未払いなど労基法違反があったとして是正勧告した。
- 28日 総務省によると7月の全国消費者物価指数は前年同月から横ばいの103.4。2人以上世帯の消費支出は前年同月比0.2%減。(迫田)